

会議録（要旨）

【開催概要】

会 議 名 称	第21回泉大津市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和4年12月20日（火）14:30～16:00
開 催 場 所	泉大津市役所 3階 大会議室
出 席 委 員 (名簿順表記)	長瀬委員（会長）、久委員（副会長）、川西委員、村田委員、大橋委員、 萩上委員、細見委員、亀谷委員、西村委員、榎並委員、平委員、秦委員、 納谷委員（計13名）
欠 席 委 員	貫野委員、田中委員
事 務 局	竹内教育長、丸山教育部長、藤原健康こども部長、鍋谷教育政策統括官、 河合教育政策課長、近藤スポーツ青少年課長、白井指導課長、 堀田子育て応援課長、里見こども育成課長、深澤障がい福祉課長、 濱辺福祉政策課長、小島こども育成課長補佐、 下村子育て応援課長補佐、子育て応援課：岩住
会 議 次 第	1. 開会 2. 案件 (1) 泉大津市子ども・子育て会議委員改選について (2) 泉大津市の子育て環境の現状について (3) 第二期いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について (4) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画の進捗状況について (5) 泉大津市地域子育て支援拠点・一時預かり事業の拡充について (6) 泉大津市立児童発達支援センター「にじっこ」について (7) その他 3. 閉会
配 付 資 料	【資料1-1】泉大津市子ども・子育て会議委員改選について 【資料1-2】泉大津市子ども・子育て会議委員一覧 【資料2】泉大津市の子育て環境の現状について 【資料3】第二期いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について 【資料4】泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画の進捗状況について 【資料5】泉大津市地域子育て支援拠点・一時預かり事業の拡充について 【資料6】泉大津市立児童発達支援センター「にじっこ」について 【資料7】組織機構の一部再編について
公 開 / 非 公 開	公開

傍 聴 者	なし
その他の必要な事項	なし

【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹内教育長あいさつ ・会議成立要件の確認（委員 15 名中 13 名が出席のため成立） <p>2. 案件</p> <p>(1) 泉大津市子ども子育て会議委員改選について</p> <p>●資料 1 に基づき説明（子育て応援課）。</p>
会長	<p>◇ご説明ありがとうございました。本件につきまして、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。では、新しい方 2 名を含めて 15 名ということでよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>(2) 泉大津市の子育て環境の現状について</p> <p>●資料 2 に基づき説明（子育て応援課）。</p>
会長	<p>◇ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございました。本件につきまして何かご質問、ご意見はございますか。少し考えていただいている間に、私から一点お尋ねします。9 ページの家庭児童相談の状況について、虐待の状況としては通告件数が減っていますが、療育相談はかなり増えています。分かる範囲で結構ですので、どういう養育相談があるのか、コロナ禍もあって不安も高いと思いますが、虐待以外のどのような相談が寄せられているのか教えてください。</p>
事務局	<p>●虐待通告件数は通告があった中で対応した件数ですが、相談件数につきましては、要対協に台帳登録されている方々に何もなくても現状をお尋ねするなど、支援を継続している中でのものが入っています。終結しない限りその方々への支援は続き、いろいろな種別の相談内容がありますが、基本的には子育てにまつわる養育の困難さや経済的な困難さなどの相談であり、ひとつ間違えると虐待に移行するリスクも含まれた相談であると感じています。</p>
会長	<p>◇ありがとうございます。終結しない限り支援が続くということで、特に何かが起こっていなくても継続的に関わっていくということですね。他の委員はいかがで</p>

副会長	<p>しょうか。</p> <p>◇15 ページのショートステイ、トワイライトステイですが、令和2年度はゼロ、令和3年度は3ということで、せっかくいい事業を進めている割には利用者数があまり伸びていません。下段のファミサポもあまり伸びてないということは、コロナ禍で親御さんが家庭にいる時間が長くなったのでニーズが減っているのか、あるいはその他の理由、例えば、まだ認知されていない、使い勝手が悪いなどで伸び悩んでいるのか、そのあたりを教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>●子育て短期事業につきましては、コロナの状況で受け入れ先がなかなかないということもひとつ原因として考えられます。ニーズはあるけれども、受け入れがしてもらえない状況であることが、利用者数が上がってこないと要因と捉えています。ファミサポにつきましては、コロナでニーズが減っていること、また、対面が控えられていることもあり、数として減っていると考えています。</p>
事務局	<p>●補足いたします。ショートステイは確かに受け手の問題が非常に大きく、課題と感じています。ファミサポにつきましては、例年、少しずつ利用登録数が減ってきています。これはファミサポの使い勝手を否定するものではなく、その他の子育て施策、なかよし学級や一時保育などが当初この事業が立ち上がった時に比べると非常に充実してきたことがあり、そういったところで人数が減ってきていると考えています。利用者数を増やすために積極的に啓発していくことは必要ですが、ひとつの要因として他の子育て施策の充実もあると思われま。</p>
副会長	<p>◇ありがとうございます。ショートステイ、トワイライトステイは30の見込みを計画で上げていたけれども、受け入れとしては30まで受ける用意ができなかったということですね。ファミサポについては、そこしか預け先がなかったという状況が以前はありましたが、今後はファミサポだけではない総合的な受け皿の中で、ファミサポ事業の位置付けをもう一度考え直さないといけない時期に差し掛かっているのかなと思いましたが、次の計画策定時はこのあたりも気にしていけたらなと思いました。</p>
会長	<p>◇今ご指摘の点につきまして、事務局はご検討いただくようお願いいたします。他の方はいかがでしょうか。それぞれ様々な立場で関わっていただいておりますので、関連するところで何かお気づきの点がありましたらお願いします。学校の状況はいかがでしょうか。何か補足することがありましたら、お伝えいただければ幸いです。</p>
委員	<p>◇コロナの状況で2年ぐらい前からかなり学校ではいろいろな制限等をかけられていますが、今年3年目にもなって学校も慣れてきたというところもあり、色々</p>

会長	<p>な事業ができてきています。学校に限って言えば、1年前、2年前と比べて割と学校活動は活性化してきていると思います。</p> <p>◇現在は元のまま同じとは言わないですが、少しずつ気をつけながら色々な活動を再開していただいているということですのでよろしいでしょうか。ありがとうございます。子ども園と保育園もお聞きしたいと思いますが、いかがですか。何かありましたら、関連するところでお願いします。</p>
委員	<p>◇利用者数に関しても去年度よりすごく減ったり増えたりという大きな動きはありませんが、コロナ禍の折、園運営にあたってコロナ禍を活かして少しずつ動けるように工夫すべきところがあると思います。コロナ禍で大変だった部分もありますが、かえって運動会などは人数制限をすることで、保護者の方から大変見やすくなった、朝早く並んで観客席を取りに行かなくてもゆったりとしっかりお子さんを見られるという意見もいただきました。コロナ禍にプラスアルファすることで、こういう行事のやり方もあると思います。また、地域の方も少しずつ行き来する機会が増えてきています。お隣の小学校さんとも校長先生に呼び掛けていただいて少しずつプール遊びに参加させてもらったり、毎月お手紙を届けあったり、少しずつ再開しつつあるので、コロナ禍でもできることを少しずつ再開できたらと思っています。</p>
会長	<p>◇密にならない方法を工夫していただいた結果、新たな方法の中に可能性をたくさん見出して実施していただいているということかと思います。保育所はいかがでしょう。</p>
委員	<p>◇制限がたくさんあった中で、少しずつ以前の行事をこの機会に見直す機会にもなっているので、行事の持ち方を考え直して新たな活動の仕方を考えていっています。</p>
会長	<p>◇ありがとうございます。そのことによって子ども達のいろいろな発達保障をしていただいているかと思います。ありがとうございます。地域子育て応援センターはいかがでしょう。</p>
委員	<p>◇コロナ禍でかなり利用者数が減っていましたが、このところ少しずつ来ていただく方が増えて活発になってきました。お母さんたちは、やはり子どもさんと二人きりで家にいることがすごく大変だったというようなこともおっしゃっていて、一時預けかりに預けたかったなど、いろいろな話をくださっていて要望も聴いています。</p>
会長	<p>◇ありがとうございます。コロナ禍で自粛の時期はずいぶん辛い思いをされた方</p>

委員	<p>も、やっとこうやってまた受けられるようになって安心できました。</p> <p>◇団体として各幼稚園などいろいろなところを回っています。今日もかみじょう認定こども園で頑張ってきました。明日はえびす認定こども園へ行ってきます。やはり子どもさんと関わることで非常に元気をいただきます。ずっとコロナで怖いからと丸まっていたのが、少しずつ胸を張って子どもたちと関われるということを感じていますので、我々にとってもウイズコロナでできれば一番いいと感じています。</p>
会長	<p>◇委員のみなさまありがとうございました。今、それぞれからお話いただいたように、まだまだ気をつけなければいけない状況は続いているのですが、その中でできることを、気をつけながら子どもたちと保護者のためにしていただいている状況が報告されました。令和3年度の状況に比べると少し4年度は上向きで推移していくのかな、できることを丁寧に行っていくことができるのかな、ということを感じることができました。他の委員のみなさまどうでしょうか。ご質問やお感じいただいたことがありましたらお願いします。</p>
委員	<p>◇8ページのいじめ・不登校の状況ですが、不登校の児童数が小学校、中学校ともに令和3年度にかなり増えているように思いますが、これもやはりコロナで人と人との関係が薄くなっていることが要因なのか、または、別の要因があるのか、そのあたり、現場の状況を教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>●まず、いじめの認知件数の増加についてですが、いじめが起こっているということ先生方がしっかりキャッチできているというふうに捉えています。子どもたちの些細な言葉やちょっとした行動についても、これはいじめではないかとアンテナを高くしてキャッチしていることの証と考えています。また、不登校児童生徒数の増加につきましては、不登校のカウントの仕方、例えばコロナが不安でお休みしている方も不登校の日数にカウントされていて、増えたというような状況に見えています。また、学級閉鎖も不登校の日数にカウントしています。</p>
会長	<p>◇ありがとうございます。学校の現場においても、何か補足があればお願いします。</p>
委員	<p>◇いじめにつきましては各学校に相当数あるかと思いますが、各学校で委員会を開いた上で全て解消すべきというところで動いています。不登校については小学校でもこの頃増えてきています。各学校の教育相談等でしっかり頑張っていますが、やはりコロナの影響が原因の一つと感じられます。</p>
会長	<p>◇ありがとうございます。認知度も上げていただきつつ、またコロナ不安にも教育相談等で対応していただいているということをご報告いただいたかと思います。</p>

	<p>ありがとうございます。一つずつ気を付けながら、さまざまな取り組みが実施されている状況かと思えます。他の委員のみなさまよろしいでしょうか。それでは、案件2につきましてはこれで終わりとさせていただきまして、引き続きまして、案件3、第二期いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
	<p>(3) 第二期いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について</p>
事務局	<p>●資料3に基づき説明（子育て応援課）。</p>
会長	<p>◇ただいま事務局より主なものについてご説明をいただきました。今ご説明のあったものでも、他の項目でも構いませんので、何かご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>◇5ページの10番のところですが、保・幼・認・小・中・高校・大学との連携強化を図っていますと書いていますが、中・高・大とのつながりについては書かれていないように思いますが、何か出されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>●中学校、高校との連携につきましては、隣接中高連携ということで、中学校の教員と、高校の教員同士がお互いに授業を見合ったり、学校の行事のことなどを話し合ったりというような形で連携強化を図っています。場合によっては、高校生が自分の卒業した中学校に行って、自分の今通っている高校の紹介をするというようなことも行っています。</p>
事務局	<p>●大学連携につきましては、大阪体育大学や桃山学院大学と、スポーツや生涯学習のイベントや教室等について連携を行っています。</p>
委員	<p>◇6ページの3番、学力向上推進事業の推進について、令和3年度の実績で、ICTの活用率は全国・大阪府より高くなっているということですが、この前、小学校のオープンスクールを見た知り合いのママが、ロイロノートを使った授業がすごく沢山あったと話していて、その日しか見てないので分かりませんが、あまりにもロイロノートを使っている時間が長く、紙のノートを使う時間が全くなかったことで、目が悪くならないかという心配と、ノートを書く力について不安なところがあると話していました。そのあたり、どういう感じなのかお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>●まず、ロイロノートを使った授業を見ていただいたということ、非常にありがとうございます。確かに使用時間が長いというご心配はおうちの方もお持ちかと思いますが、学校でもずっと見続けられないようにという指導はしています。また、書</p>

	<p>く力が弱くなるのではというご心配もあると思いますが、今、タブレットを一人一台ずつ配布していて、自分の考えについてキーボードを使って入力していくことで、自分の考えを表出することについてはこれまでと変わらず、むしろ、子どもたちが自分の字ではなくて、パソコン上に出てくる文字を使ってそれをプレゼンテーションで発表する機会にも多く繋げています。ですので、以前に比べて書く力の質は向上していると思います。もう一つご心配になると思われますが、書く筆圧については、各学校でタブレットドリルを使って書く練習もしていて、低学年、中学年、高学年と発達段階に応じた、書くという取り組みを考えて行っています。</p>
<p>会長</p>	<p>◇良い点は生かしながら、保護者の方の不安にもしっかりと応えて適切な指導を引き続きしていただければと思います。ありがとうございます。他はいかがでしょうか。それぞれの保護者の方もおられますので、ご心配な点などありましたらお答えいただけるかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>◇タブレットについて、うちの子どもに関しても、家に帰ってきてから先生からの連絡や、先日行われたオープンスクールの際に、その場で作った作品をタブレットを使って前に映し出すなど、僕らの時では考えつかなかった取り組みが本当に多くなされているかと思います。また、このコロナ禍になって本当になかなか学校に行けない日も多かったですが、その分、園や学校でさまざまな取り組みを行っていただいております、ここに書いている内容に沿って、新たにさまざまな情報を踏まえながらブラッシュアップして子どもたちのために取り組んでいただきたいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございます。教育委員会を中心に活用の研修等も行っていただいておりますので、望ましい活用の仕方や学習効果の上がる方法なども検討していただいておりますので、留意しながら発達に合わせて適切に使っていく方向で活用をお願いしたいと思いますし、またそのことを保護者にもしっかりと授業参観等で伝えていただければと思います。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>◇発達障がい児2人の子どもを育てる保護者であり、NPOで親の会もしています。どうぞよろしくお願ひします。いくつかの項目で少しお伝えさせていただきたいなと思いますが、まず、保護者支援と発達障がい児を育てる親として、私たち当事者のニーズが課題や目標に反映されていることが、今後の子ども達の笑顔が続き、保護者が穏やかにお子さんと向き合っていける、地域で育てていけるということにつながっているかなと思っています。その中で1つ目として12ページ、放課後等デイサービスの充実です。こちらに書いていただいておりますとおりにたくさん増えてきています。課題と目標のところに質の向上と挙げていただいておりますが、現在の状況や、預けている側でどのような状況があり、起こっているの</p>

かということ、この中で預けてらっしゃる方は私しかいないのではないかなと思いますので、実際に私の目の前で起こったことをお話させていただけたらと思います。うちの子どもも預けている場所ですが、知的に課題のあるお子さんが思い通りいかないと、学校に行くバスに乗せるのをみんなで応援しに行く時に、ちょっとややこしいからこの子連れて行ってと言ってバスに乗せるのを私は見えています。当然、私に見られたという顔はしていらっしゃいました。また、通園バスが交通違反をして警察から止められて聞き取りがあったけれども、私たちには無かったという報告で、もう一度確認してもらえますかと言うと、実際にはあったということが現状起こっています。これは私が知っていることですので、他にもきっと多くあるのではないかと思っています。やはりそのお子さんを考えた時に、交通違反のこともですが、障がいのあるお子さんがバスに乗っていた時に、警察に呼び止められてしまうという事案が不安にならないかというところで、私のところも通園していた時に何度かありましたが、おうちに帰ってから不安にならないか観察してあげてもらえますかという報告は当然ありました。把握するという行為が子どものためになるのかならないのかということも、質の問題や倫理観の問題だと考えています。数ができればそれでいいとは、私も含めて保護者たちは考えてはいません。そのあたりをきちんと理解していただいて、市として把握や質の向上に努めていただけたらと思います。よろしく願いいたします。あと、15ページの8番、総合的な支援体制の整備で、多くの関係していただいている課のみなさまや、障がい福祉課、子育て応援課も含めてですが、連携していただいてより良くしていただいております、たくさん充実した状態になっていることを感謝申し上げます。その中で、発達障がい児は、小学校の途中から発達障がいになるわけではありません。今では既に社会性の項目のチェックで1歳半検診である程度の把握も可能になってきています。ではなぜ小学校に入ってから先生とうまく行かないのか。小さいうちは強く叱ったり、大人の言いなりにしたりすることは簡単にできますが、その時点から育てにくさというのは親御さんには必ずおありで、育てにくいけれど大人の力でどうにかしていた時期が必ずあるかと思います。その段階から工夫した子育てが必要なお子さんであるという理解が周囲の大人に必要なかと思っています。その後、継続して工夫した子育てや、肯定的、具体的、資格的な子育てができていくかという確認を、保育、教育の観点から家庭にかかわっていただく方々がしっかりチェックしていただきたいと思っています。年長児就学相談を含めて病院にかかるとなった時には、投薬治療も含めて病院を受診すると思いますが、現在、泉大津市立病院ではしっかりと診断や投薬の際の薬の説明がなされていないことが多いです。うちの会員さんも含めてですが、向精神薬が出されていますが睡眠薬として飲んでいて、何年もそれに気づかずにいらっしゃるという親御さんが普通にいます。うちの親の会では、全国的に発達で有名な横浜発達クリニックの児童精神科医や心理士の先生にも勉強させていただきながら応援いただいておりますが、やはりその状況はあまりよくありません。私も確認はさせていただきました。その薬も含めてですが、お子さん

の特性への対応や環境調整、必要性などを親御さんにきちんと伝えていくという段階があまり連携されていないと感じています。基本的に発達障がい薬を飲んだからと言って治るわけではありませんが、そういった状況を治ると思っていられる親御さんがかなりいらっしゃいます。環境調整しての漸減、薬はきちんと医療的に決まったものであると私は認識していますので、その説明責任を果たしていただきたいと思います。あと、入学して特別支援教育の下で接して下さる先生方に出会ってしまうことで、甘えが出てしまうのは当然です。ご自宅で叱責などを繰り返す養育であれば、当然そうなるので、愛着障がいとまではいなくても、アタッチメント形成が不全になる発達障がい児が多いと思われる、学校の困りとも結びついていく。育ちを考えた時に部分的な問題ではないのでシームレスケアという形になっていると思いますが、そのつながりがシームレスとは言いつつ子どもの一人の成長を考えたときの連携というのが、あまりにも子育てのこの今の状態は誰が悪いのかというところの悪者探しをしてしまうことが、お子さんや保護者さんにとって決して良い状態にはならないと思っています。そのあたりを、病院を含めた関係者のみなさまの中で、先生方だけではなくて、病院や子育て応援課のみなさまも含めて、一人のお子さんがどう成長して行くのかというところを見ていただきたいなと思っています。それを踏まえて3つ目ですが、3ページの7番です。泉大津市要保護児童対策地域協議会の推進です。私は来月、松原市で幼稚園、保育所、学校の先生、市の職員50名にメンターとして先輩保護者の話をします。その際のニーズとして松原市からお聞きしているのは、先生方もお子さんが分からないということです。発達障がいのあるお子さんやその傾向があるお子さんが、みなさま一人ひとり全く違うために、子どものことも難しいし保護者の困りも分からないので、当事者であるメンターに依頼があるという形になっています。今回のこの資料の中にメンターの活用は載っていませんが、先生方も含めて保護者さん向けにもあり、大阪府として活用できる事業となっていますので、ぜひ活用していただきたいと思っています。私自身関わっているお子さんもそうですが、小学校高学年になって必死で親御さんと一緒にDBDマーチを止めるという状況になっています。本来はもっと小さいうちから気にされていたはずなのですが、高学年にもなってしまうと本当に大変です。もう少し小さいうちからきちとした医療を含めた視点で見ていただけてケアしていただきたいのですが、そこが多分、すごく穴だらけになっているのだらうと思っています。うちの会員さんの中にはお子さんが18歳前後の親御さんも何人もいらっしゃいますが、大きくなったら違う病院を紹介され、病院から見捨てられたと思っていると平気でおっしゃいます。小さなうちだけ、簡単にやれるときだけではいけません。困っている保護者さんを困った保護者さんにしないでほしいです。学校の先生方はすごく大変で、トイレに行く暇もありません。子どもたちとの時間はとても貴重なので、奪ってあげないでほしいです。ですので、医療も福祉も、小学校に上がって低学年ぐらいまでの間に親御さんがお子さんとの関わり方がわかるような、そういった形で丁寧な子育てができるよ

<p>会長</p>	<p>うに、みんなで支えてあげていただきたいなと思っています。</p> <p>◇ありがとうございました。今のことについて何か事務局からありましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>●13 ページの4番、放課後等デイサービスの充実について申し上げます。障がい福祉課は、障がい児や成人期の障がいのある方の支給決定と、事業所への支援等を行っているところです。障がい児のサービスは、放課後等デイサービスや児童発達支援など、確かにここ数年、爆発的に全国的に事業所が増えてサービスの利用者も増えてきていて、障がいがあるみなさまへの支援に寄与しているところであると思います。ただ、一度にたくさんの事業所が増えたという弊害もあり、委員のご指摘のような面も出てきていますし、泉大津市や障がい児サービスの指定や指導をする大阪府に苦情が寄せられ、時々報道でもあるように処分を受けている事業所も出てきているということが実際にあります。そんな中で泉大津市は今どういう形でそれぞれサービスの提供、事業者支援を行っているかですが、障がい児の事業所では、今、市内の事業所で連絡会や組織を立ち上げていて、各事業者でそれぞれの課題を共有し、意見を出し合って、どのように底上げしていけばよいかを主体的に考えて、少しずつですが力をつけていただき、その上で適切なサービスや支援を行えるような形を徐々に作っているところです。障がい福祉課としてもそこに関わらせていただいて、顔の見える関係も作ってさまざまな課題を共有するようにしています。このような形で、障がいのある子どもさん達の事業所に対し、障がい福祉課としても支援に力を入れているところです。</p>
<p>事務局</p>	<p>●ご指摘いただきました 15 ページの8番、総合的な支援体制の整備、シームレスケアです。このあたりにつきましては、私たちも本当に保護者の困り感に沿いながら、その経過を共有しながら、いいタイミングでいろいろな支援が入るよう非常に心に留めながら、実際の支援にあたっているところです。ただ、その課題や保護者さんのお困り感がうまくこちらの支援と結びつくということは難しいところで、伴走しながらそのタイミングを掴んでいくことがとても大事だと課題として感じています。今ご指摘いただいたような、各部署に多岐に渡る課題については、この中にもあります発達支援ネットワーク等でもいろいろなテーマについて話し合いをしているところで、今日いただいたご意見もそういったところでも共有していきながらお伝えしていければと思います。子どもさん、親御さんそれぞれの状況や、子どもさんの特性は本当に多様ですので、保護者の方々が安心して私達が支援をご提供できるということがまだまだ不十分だと感じていますが、一つずつの課題を丁寧にすくいながら、一步一步解決できればという気持ちを持っていますので、また色々ご教授いただければと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございました。こういう貴重な機会に当事者のお話を聞かせていただ</p>

<p>副会長</p>	<p>いて、すぐにすべて解決ではなくても、またがる部署とも連携し、引き続き検討課題としていただいて、ニーズができるだけ反映された支援になるようにこれからも充実を図っていただければと思います。</p> <p>◇先ほど委員さんのお話を聞きまして、特別なことではなくて、誰がどう接しても同じように対応できるということが求められていると思いました。大学も、今は発達障がいを持っている学生が増えてきていて、毎年のように教職員の研修の中でどのように接したらいいのかということを勉強しています。みんなが対応できるような形で、その対応の仕方もきちんとズレが無いようにやっていくことが重要だと思っています。さらには受け入れた4年間だけではなく、私たちが今考え悩んでいるのが、送り出す側のことです。つまり大学の場合は企業にお渡しをするという、ここをどう接続するかということが、今はとても難しいですが、障がいのある学生が卒業してからどういう仕事に就けるのかということも、今私たちが勉強、研究中で、そういう意味では、お預かりした間だけではなく、次のバトンをどうお渡しするかということがうまくいけば、多分委員がおっしゃったようなことの課題はどんどん減少していくと思いますので、そのあたりを全員が対応をきちんとできるようにしていくということと、バトンの渡し先のことを常に考えていくということができればいいのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>●みなさまに情報提供ということでお話しさせていただきます。まず、義務教育の特別支援教育においては先般、文科省から、大阪が特に支援学級数、児童数が多いということ指摘されています。その状況下で大阪府は過去何十年と、共に育つということを訴えてインクルーシブ教育をずっと続けてきたという流れがありました。ただ、今、副会長が言われた中の自立活動という部分においては後手を踏んでいるところがあるのかなと大阪の先生も思っています。その中で泉大津市の現状を言いますと、令和2年から特別支援の勉強をしっかりとしてきた指導教諭が関わっていただいて、個別の指導計画を非常に充実させました。その結果、この大きな変動の時に混乱なくスムーズに文科省の指示が入って、大阪府の指示も受け入れているという現状です。恵まれているのはその点だけではなくて、大阪府からも非常に支援していただいて、中学校2校、小学校は8校全部に通級学級が設置されています。こういう市町村は非常に珍しいです。そういう意味では今、委員が言われたような形で先生方とはとにかく一生懸命関わって行って、自立活動をとにかくまず充実しなければならないという課題を持ちながら前に進んでいる状況です。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございました。今出された情報提供も含めて、今後とも継続的によろしく願います。また、切れ目のないということ言えば、生まれてからの発達に伴って、それぞれの時期に必要な支援が受けられるような体制づくりを引き続き行っていただければと思います。</p>

委員	<p>◇4ページ、5ページのところで何度か出ているスタートカリキュラムのことですが、私も和泉市のスタートカリキュラムの委員に入っており、和泉市の子ども未来室と一緒にスタートカリキュラムを作っているところです。去年と今年の2年間かけてある一定のカリキュラムの作成までは行きましたが、私の幼稚園は和泉市にあります。泉大津市から来ているお子さんも多く、うちの園から卒園したら泉大津市の小学校に通い出すということで考えると、和泉市だけで就学前施設と小学校の先生が連携をとって話し合う場は何回もあります。他市にまた子どもたちからすると、広域で考えた時に泉大津市のスタートカリキュラムをこちらでも把握しておくべきところがあると感じていて、そういったところの交流というか、機会がもし持てるのであれば、例えば5市1町とか、そういったくくりで何か共通の決め事をしなくとも、うちの市ではこう考えていますという、ある一定のものを各園にお教えいただけたらありがたいと思っています。今現在、泉大津市でどの程度カリキュラムの作成が進んでいるのかもお聞きしたいと思いましたので、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>●スタートカリキュラムの取り組みについてですが、令和3年度の実績にも書かせていただきましたが、各校園所の幼保認小接続研究委員会、いちご接続研究委員会というものを立ち上げています。内容としましては、幼稚園から小学校一年生に上がる時にどのように小学校で迎え入れているかをお話しするような形で、カリキュラムというと堅苦しいですが、幼稚園を卒業した子どもたちが、小学校一年生で学校生活にどのようになじんでいくかというところに焦点を当てた話し合いの場を進めています。全ての小学校においてスタートカリキュラムの視点を取り入れた、新入生を迎えようということで、例えば今12月ですが、3学期にはこんな事をしていこうというような話し合いをしていて、それを具体的に校内で発信し、次の4月にどの先生が小学校一年の担任になっても新入生を迎えられるような体制を組もうという形で各学校でも話を進めています。このような形で、スタートカリキュラムの充実に向けた取り組みを行っています。</p>
事務局	<p>●補足します。全小学校で一年生広場を開設しております。上條小学校が基本でもう5年になり、そこから転勤等で各小学校に行った先生がそれをベースに15分単位での活動を一学期間、普通は45分の授業ですが、教育課程の中で15分単位のカリキュラムを組んで、授業に慣れ親しむという形で進んでいます。</p>
会長	<p>◇いろいろなところからご意見をいただきました。この案件については今のご意見をそれぞれ事務局で継続して検討していただくということでお願いいたします。貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございます。また必要なことがありましたら、事務局にお伝えいただいて検討の遡上に上げていただくようにしたいと思います。では、続きまして案件4、泉大津市就学前教育・保育施設</p>

	再編実施計画の進捗状況について、事務局よりご説明をお願いいたします。
	(4) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画の進捗状況について
事務局	●資料4に基づき説明（こども育成課）。
会長	◇ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございましたが、本件につきまして、ご意見ご質問ございませんでしょうか。
委員	◇条南幼稚園の話ではありませんが、地域子育て支援センターには保育コンシェルジュがいることをご案内させていただいて、入園所についての相談も多いです。先日、保育士による虐待の事件が連日報道されていることもあって、これからわが子を入園させようとしている保護者の方から不安であるとの相談が来ました。どのようにお話ししたらよいか凄く難しく困りましたが、先生方も色々沢山研修を受けてくださっているの、不安なことは相談すれば一緒に考えてくれるし、市役所でも相談することができるからねとお答えしました。その時に、私自身も保育士として働いてきましたが、自分の保育や教育が今の時代に合っているのかということ今一度確認できるような研修が受けられればと思いました。先ほど委員からも意見がありましたが、子どもの発達や人権、権利を守るために、また、誰でも今の社会で安心して子育てできるためには、どのような保育や教育が必要なのかということが分かる機会が必要だと思います。また、再編の方針として、泉大津の子どもを公民連携して育てていく体制を作りながら進めていくとしています。公立園所が統廃合されて運営を法人に委託していく計画が進むと思いますが、これから公立園所よりも民間の園所が多くなっていき、企業型の認可外の保育施設も少し増えてきたと思っています。先ほどお話しさせていただいたような研修や障がい児保育などは、泉大津市の教育、保育の基本的なことを共有し、公立園所でも民間園でも基本的なところは同じで、その上にそれぞれの特色ある教育、保育があるということなのではないかと思っています。そんなことが実現できたら、保護者の方の安心の一つになると思いますし、現場で働く方々にとっても子どもの理解がより深まるのではないかと思います。特に発達障がいや、配慮の必要な子どもさんへの理解というのは、保育のあり方について悩む保育者も多いと思います。研修の内容、公民一緒に研修などを進化させていただいて、保護者の方が安心して預けることのできる就学前教育保育施設にしてほしいと思います。よろしくお願いします。
会長	◇今のことにつきまして事務局から何かありますでしょうか。
事務局	●委員からのご提案につきましてお答えいたします。まず、公立での研修につきましては、基本的なことはもちろん行っておりますが、毎年、その都度、その時点

<p>会長</p>	<p>で、必要な研修について、できるだけ早いタイミングで対応できるように、内容の選定の話し合いも各園長、所長と行って、その形で進めていきたいと考えています。公民連携については、私立の認定こども園さんとも毎月一回会議を開催していて、研修内容につきましても、公立で今まで基本的にやってきたことやこれから一緒にやってくる内容については、同じ内容で研修を行っていくという考えのもと話し合いしながら実際にこれから進めていこうとしているところで</p> <p>◇ありがとうございます。ほかの委員のみなさま、いかがでしょうか。特に無いようですので、案件4はこれで終了し、案件5に入ります。泉大津地域子育て支援拠点・一時預かり事業の拡充について事務局よりご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(5) 泉大津市地域子育て支援拠点・一時預かり事業の拡充について</p> <p>●資料5に基づき説明（子育て応援課）。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ご説明ありがとうございました。この案件につきまして委員のみなさまからご意見、ご質問はございませんでしょうか。では、予算決定の議会承認が得られれば令和5年度内に開所予定ということで、みなさまご承知おきください。</p> <p>(6) 泉大津市立児童発達支援センター「にじっこ」について</p>
<p>事務局</p>	<p>●資料6に基づき説明（子育て応援課）。</p>
<p>会長</p>	<p>◇この件につきまして、委員のみなさまいかがでしょうか。新規の事業も含めて実施内容をご報告いただきました。また、スケジュールについてもお話しいただきましたが、よろしいでしょうか。特に無いようですので、この案件につきましても終了とさせていただきます。</p> <p>(7) その他</p>
<p>会長</p>	<p>◇では案件7、その他についてですが、組織機構の一部再編についての資料が出されていますので、こちらについてお話しいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>●資料7に基づき説明（子育て応援課）。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ご説明ありがとうございました。組織機構の一部再編についての内容と理由をお話しいただきました。この点についていかがでしょうか。再編によってより迅速に課題に向かってやっていくということでご承知おきください。では、資料7につ</p>

事務局	<p>きましては以上としまして、その他の案件がありましたら事務局よりお願いいたします。</p> <p>●委員の任期および改選についてお知らせいたします。泉大津市子ども・子育て会議条例第4条に基づき、委員の任期は3年となっております。現在の委員みなさまの任期は、令和元年12月24日から令和4年12月23日までとなっております。途中で前任者の方から代わられた委員の方につきましても、同様に令和4年12月23日までとなっております。在任中は公私共にご多忙の中、貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。泉大津市子ども子育て会議を運営していくにあたりまして今後、事務局の方で新たに委員選出についての手続きに入ります。その中で、現在、市職員で委員となっている方については事務局として参加する等、一定構成メンバーの整理を行いたいと考えております。また、公募市民委員のみなさまにつきましても、今年度末の3月末までにホームページや広報等で公募する予定となっておりますので、引き続きご参加をお願いできる場合は、ご応募のほど、よろしく願いいたします。なお、委員の任期は来年度当初より3年間という形を予定しております。詳細につきましては、今後改めてご案内させていただきます。</p>
会長	<p>◇委員の任期および改選についてのご連絡がございましたので、それぞれまた今後のご案内、あるいは公募の形をホームページ等で確認をいただいて、来年度当初からという形で進めていただくこととなります。これについて何かご質問がありますでしょうか。よろしいでしょうか。では、案件については以上ですので、終了とさせていただきます、事務局にお返しいたします。みなさまご協力ありがとうございました。</p> <p>3. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>